

EZP-250 を評価用ボード(EZP-200 EVA)で使用する際の注意点

1版 2006年3月20日

1. 概要

EZP-250は、旧製品(EZP-200、200LVI)と同等の機能であり、コネクタの位置やピン配置等も同じですので、評価用ボード(EZP-200 EVA)に搭載することが可能です。

但し、評価用ボードに搭載するときに、以下の注意点を御確認ください。

2. EZP-250の搭載方向

評価用ボード(EZP-200 EVA)には、EZP-200を実装する際の搭載方向の目安となるように、シルク印刷でEZP-200の概略外形図が印刷されています。

EZP-250では、搭載部品が異なりますので、この図は参考になりません。

本文書の図を参考にEZP-250を実装してください。

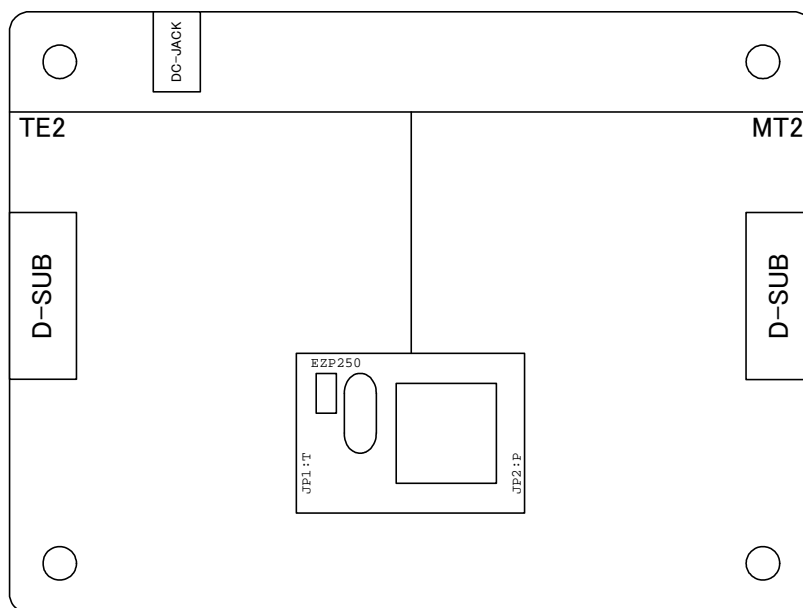


Fig 2.1 EZP-200 EVA へのEZP-250の搭載方向

ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載された回路図およびサンプルプログラム等の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有しますが、お客様のアプリケーションで使用される場合には、ご自由にご利用いただけます。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万が一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト
〒431-3114
静岡県浜松市東区積志町 834
<http://www.apnet.co.jp>
E-MAIL : query@apnet.co.jp